

DIAMOND
Quarterly

ダイヤモンド クォーターリー

東証プライム市場に上場する企業の経営者・役員、
約21,000名を含む56,000名のエグゼクティブに
直送するマネジメント誌

2024年 **冬** 号
＜12月発行＞

〈連合広告企画〉

社内人材の内部流動性を高める

リスキリング

(仮題)

【編集特集】

チェンジリーダーが日本からいなくなる前に

2025年問題

人材消滅の危機をいかにして乗り越えるか (仮題)

■企画趣旨

人材の需給バランスを整える効果的なリスキングの実践について 企業経営層や人事関連部署の意思決定層に訴求いたします

デジタルテクノロジーの普及や消費者の価値観・消費行動の変化をはじめ、企業・事業を取り巻く環境が短い期間で変化しています。その環境下では都度新しい職種が誕生したり、人手不足に陥る職種、逆にスリム化できる職種が出てきて、企業は常に人材の需給バランス崩壊の危機にさらされていると言っても過言ではありません。多くの企業は、需給のギャップを新卒社員の配置や外部からの人材採用、また早期退職により埋めてきましたが、特定職種・ポジションの需要は集中しやすく、必要な人材を適切に確保するのはますます困難な状況となっています。

そこで注目されているのが「人材の継続的育成」です。これまで多くの日本企業では、入社した従業員のスキル・能力開発は、入社直後や昇進直後といった短期的なものはあっても、継続的には行われてきませんでした。特に経験者採用になりがちな中途入社社員や、ある程度の年齢・年次に達している社員においては顕著と言えるでしょう。しかし、外部からの人材確保が難しい環境では、既存の従業員に新たなスキルや能力を獲得してもらい、将来的な社内人材の内部流動性を担保することが重要です。

長期間にわたって変化の少ない職務に従事していた従業員にとっては少なからず心理的なハードルがあるかもしれませんが、新しい役割・責任により従業員の柔軟性や適応性を促進、リーダーシップの育成、自己実現感や成長の機会を感じることでモチベーション向上が期待できます。

東証プライム市場に上場する企業の経営層に直送するマネジメント誌「ダイヤモンド クォーターリー」では、「**社内人材の内部流動性を高める リスキング**」と題した広告企画を実施します。従業員向けの研修・学習コンテンツや効果的なリスキングをサポートするソリューションなど、貴社サービスの優位性を訴求いただける絶好の機会ですので、ご参画をいただきますようお願いいたします。

【対象サービス】

- ・研修・学習コンテンツ ・学習度合いを管理するサービス
- ・従業員の能力・スキルを可視化・管理するサービス など

■連合広告企画

企画テーマを定めた**マルチスポンサー型の広告企画**です。**企画テーマにあわせて冒頭に総論記事**の掲載がございます(※)。

●連合広告企画(掲載イメージ)



※ご参画企業が1社の場合は総論はつかず、単独での掲載となります。

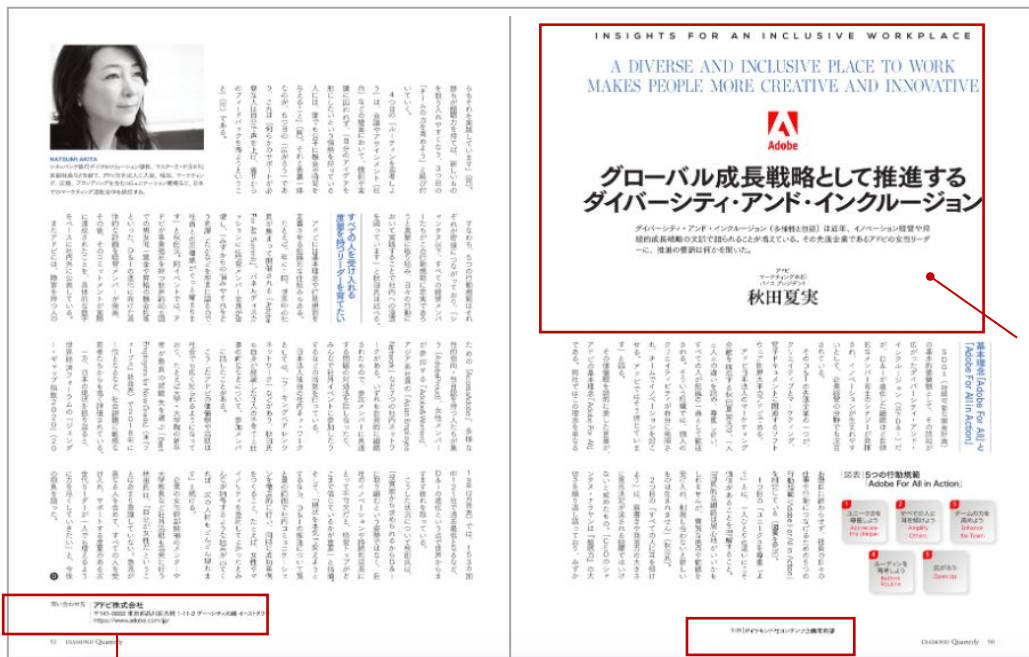
■広告タイアップ(2ページ～)

スポンサー企業の**企業広告、製品・サービス**の特長や優位性、導入メリットなどを訴求いただける**記事体広告**です。

＜掲載イメージ＞

●広告タイアップ2ページの場合

<https://www.diamond.co.jp/go/dquarterly/29/?pNo=58>



問い合わせ先

クレジット
(制作:ダイヤモンド社ブランドコンテンツチーム)

＜掲載料金＞

ページ数	料金
2ページ	2,000,000円
4ページ	3,800,000円
6ページ	5,200,000円

※取材・制作費を含みます。
※料金は税抜です。

ロゴ、記事見出し、
リード文
インタビューイー氏名

■DQオンラインへの転載

雑誌に掲載したコンテンツ(タイアップ記事)を
オンライン転載し、リーチを拡大します。

《展開イメージ》

●DQオンライントップ



<https://diamond.jp/list/quaterly>

●タイアップページ



＜転載料金＞

ページ数	料金	保証PV
4ページ	1,000,000円	5,000PV
6ページ	1,800,000円	10,000PV

※雑誌料金への追加料金です。
※8ページ以上の場合はお問合わせ下さい。
※誘導方法は弊社に一任となります。
※オンラインのみでの展開も可能です。仕様料金等は
ご相談ください。
※料金はすべて税別です。



●ダイヤモンドオンライン

※掲載内容は誌面と同様です。
※誘導はDQオンライントップ、
ダイヤモンドオンラインから行います。
※ご要望により、オンライン単独での
掲載も承ります。
※二次利用(広告主サイトからのリンク)
についてはお問い合わせ下さい。

■純広告料金

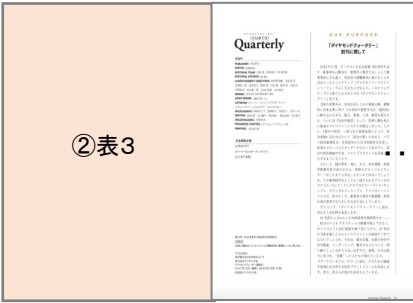
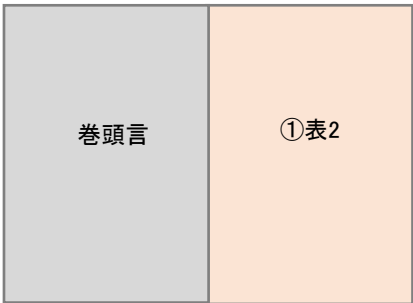
表紙周りの**特別なスペース**。中面も掲載可能です。

<掲載料金>

ページ数	料金	サイズ (天地×左右)
①表2	1,000,000円	280×210mm※
②表3	900,000円	280×210mm
③表4	1,300,000円	260×190mm
見開2ページ	1,800,000円	280×420mm
1ページ	900,000円	280×210mm

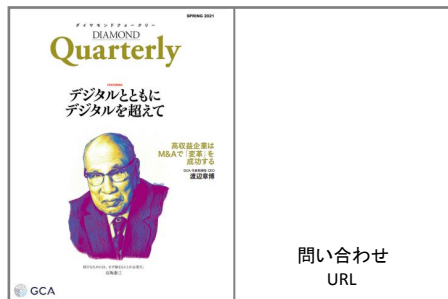
※原稿はスポンサー企業様にてご用意ください。
 ※表2は見開きも可能ですので、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。
 ※料金は税別です。

表紙



③表4

■抜き刷り



問い合わせ
URL

表紙

裏表紙

部数	4ページ		6ページ		8ページ		10ページ	
	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価	基本料金	上積単価
1,000部	350,000円	0	368,000円	0	384,000円	0	416,000円	0
1,000部以上	350,000円	15	368,000円	23	384,000円	26	416,000円	36
5,000部	410,000円	14	460,000円	21	488,000円	23	560,000円	32
10,000部	480,000円	12	565,000円	20	603,000円	22	720,000円	30

- 表紙は弊社が定める抜き刷り専用のデザイン・フォーマットとなります。
- 裏表紙には、ロゴ、住所、URLなどの簡単な企業情報を入れていただくか、純広告を入れることが可能です。

※上記以外の部数、ページ数の料金はお問い合わせください。

■同梱サービス



パンフレット
広報誌など

- 1号あたり4社限定で、経営者**21,000名**へ本誌を送付する際に、企業様からご提供いただくパンフレット、広報誌、セミナーチラシなどを同梱するサービス。

※その他、ダイヤモンド社からのお知らせが入る場合がございます。

- 利用料金: **1,500,000円**
- 利用条件: **本誌に100万円以上のご出稿主様限定**
- 同梱規定: 4社限定、重量50g以内、厚さ5mm以内
- 印刷物は広告主様にてご用意ください。

■誌面PDF



- 利用料金: 1ページあたり **100,000円**
- 利用期間: ご利用開始日から1年間
- 使用範囲: 自社ホームページ、イントラネットでの掲載に限ります。

※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

料金はすべて税別です。

■本誌特集テーマ

チェンジリーダーが日本からいなくなる前に 2025年問題 人材消滅の危機をいかにして乗り越えるか

超高齢化が進んだ2025年に、日本社会の様相は一変する。総人口1億2257万人のうち、後期高齢者の人口が2,180万人に達する。こうした高齢化社会の進行によって、今後はあらゆる産業が人材不足に陥り、従業員の採用競争の激化が予想される。

※企画内容は予告なく変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

さらに深刻なのは、2025年には経営者が70歳以上となる企業が約245万社にまで増加し、その約半数を占める127万社では後継者が決まっていなかったといわれている。この問題をこのまま放置すれば、約650万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる可能性がある。

一方、日本企業にはDXを推進できず国際競争力を失い、2025年以降に大きな経済損失が発生する「2025年の崖」も立ちはだかる。この「2025年の崖」は、既存システムの機能やカスタマイズが不十分で、全社横断的なデータ活用ができていない、または、複雑化・ブラックボックス化している、あるいは、既存システムの問題解決を含め業務自体の見直し(経営改革)が求められる中で、現場からの反発によってDXが妨げられていることによって起きる問題だ。

「人口減少の中でどのように経済・社会を維持発展させていくか」
「人材確保と人材不足を補うソリューション、テクノロジーは何か」
「人手不足を乗り越えて日本企業が再生する産業成長のシナリオは」 などのテーマで、

「労働力不足」「中核人材不足」「DX人材不足」といった企業の土台を揺るがしかねない事態を迎える2025年に向けて、人材消滅の危機を乗り越える道を探る。

■ 広告特集テーマ

2025年、社会と経営のパラダイムシフトをどう乗り切るか — デジタル&ソーシャルネイティブが主役となる社会の働き方とマネジメント

2025年、世界の労働力人口の75%をミレニアル世代以降が占め、日本においても同世代以降が労働力人口の過半に達する。デジタルネイティブ、ソーシャルネイティブとされる世代が労働市場でも、消費市場でも完全に主役となるパラダイムシフトが目前に迫っているのである。

そうした社会において選ばれる存在であり続けるために、企業はどのようなビジョンを描き、どんな価値観を重視し、ビジネスモデルや働き方、組織構造や文化、そして、業務システムを再構築していくべきなのか。

多世代共生型のマネジメントに取り組む経営者 と 柔軟で生産性の高い次世代の働き方や組織マネジメントの研究者 の対談を通じて上記の問いに対する答えを探る。

表紙イメージ



巻頭インタビューコンテンツ

広告特集タイトル

※企画内容は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

DIAMOND
Quarterly

[ダイヤモンドクォーターリー]

**ダイヤモンド クォーターリー(DQ)
媒体概要**

■媒体概要

ダイヤモンド社が保有する法人データベース 250,000件の中から、東証プライム市場に上場する企業+売上高 400億円以上の非上場企業の Cクラスを含む経営者および取締役・執行役員 約21,000人を抽出し、個人名宛で直送する唯一無二のマネジメント誌です。

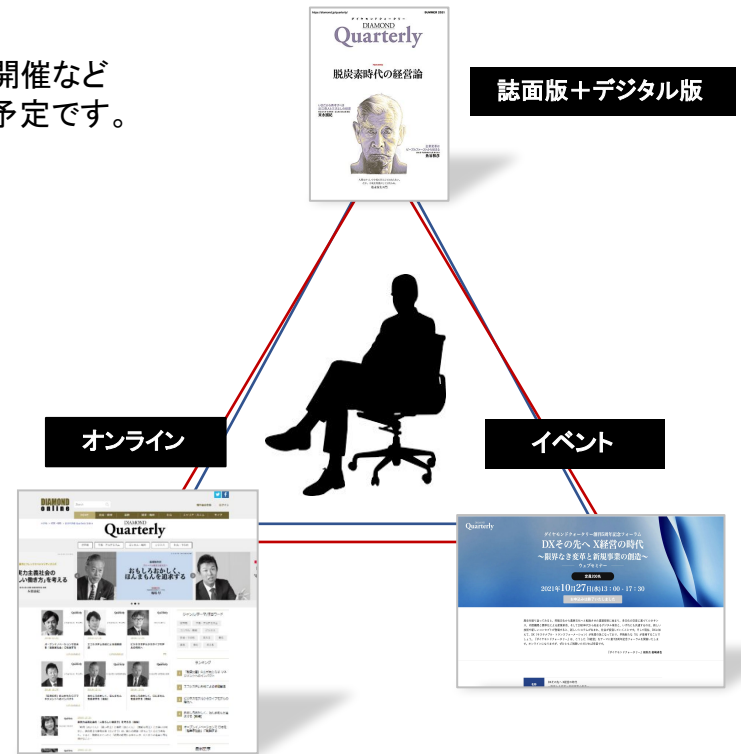
ダイヤモンド クォーターリーは、2013年にダイヤモンド社100周年記念事業として生まれ、3年後の2016年10月に現在の誌名、発行形態で創刊いたしました。

以降、日本を代表する経営者、アカデミズムなどのへのインタビューをはじめ、コンサルティングファームやITスペシャリストへの取材記事など、本質的で実践的なコンテンツを多数掲載しており、読者である経営マネジメント層から高い支持をいただいています。

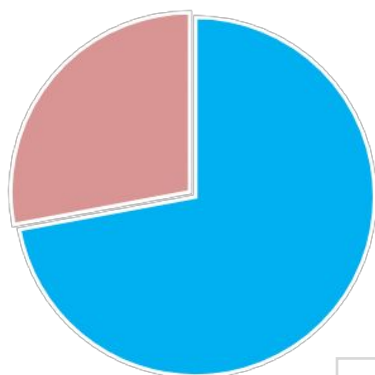
また、近年は誌面とともにデジタル版の配信、オンラインでの展開、イベント開催などにも力を入れており、今後さらに読者とのリレーションや接点を強化していく予定です。

■媒体概要(詳細)

発行日 : 3月、7月、10月、12月発行(年4回・季刊)
 発行形態: コントロールドサーキュレーション(選ばれた読者のみに送付)
 販売価格: 無料 ※電子版は880円(税込)で販売
 発行部数: 約56,000部(雑誌21,000部+デジタル版35,000部)

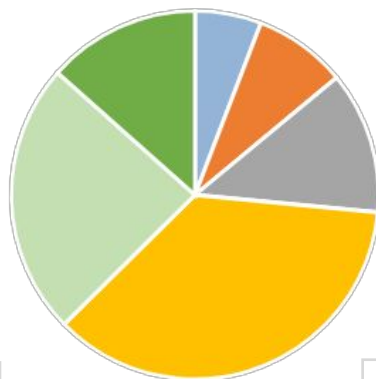


【上場区分】



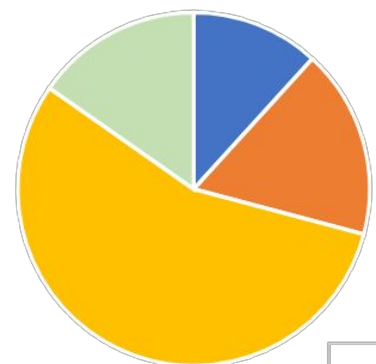
n=21,014人

【従業員規模】



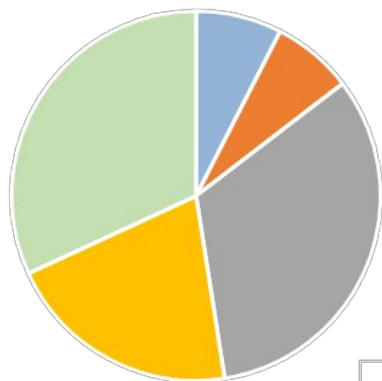
n=21,014人

【役職】



n=21,014人

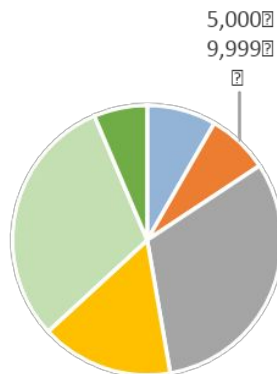
【売上】



n=2,361
 □□□□□1,841
 □□□□□520

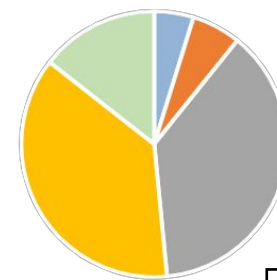
【売上(上場・非上場の内訳)】

〈東証プライム上場企業〉



n=1,841

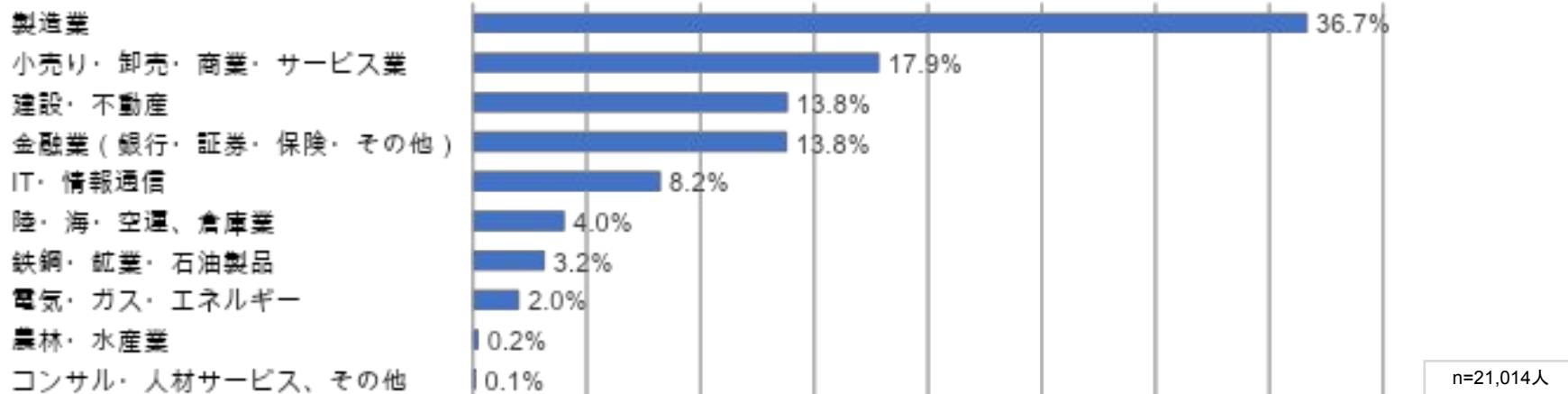
〈非上場企業〉



n=520社

本誌読者属性② 業種

【業種】



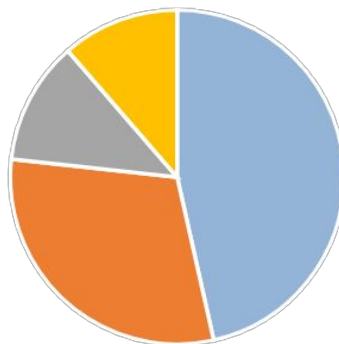
【業種内訳】

【製造業】



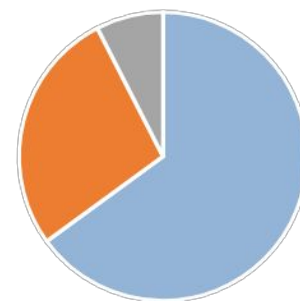
n=7,705人

【金融】



n=2,900人

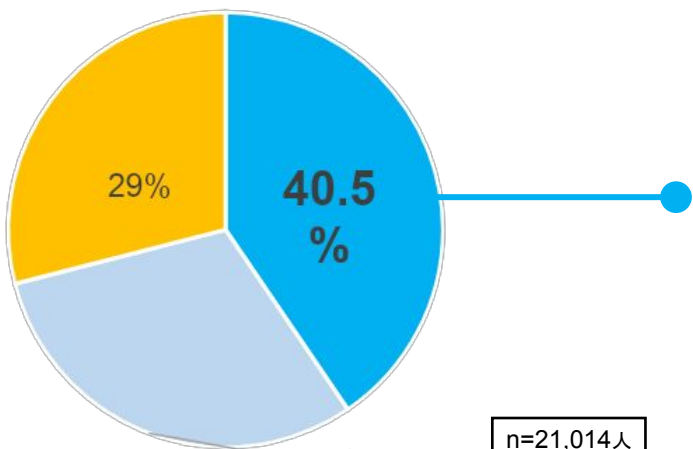
【小売り・商業】



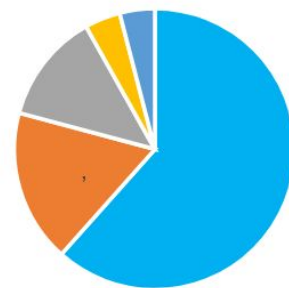
n=3,752人

本誌読者属性③ 部門

【部門】

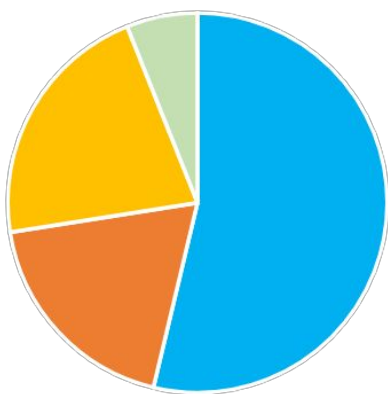


【コーポレート部門内訳】



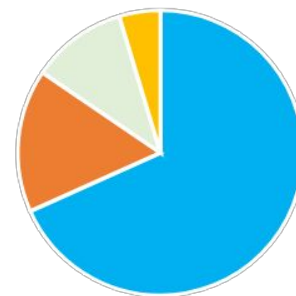
n=8,509人

【製造・デジタル・技術部門】



n=6,095人

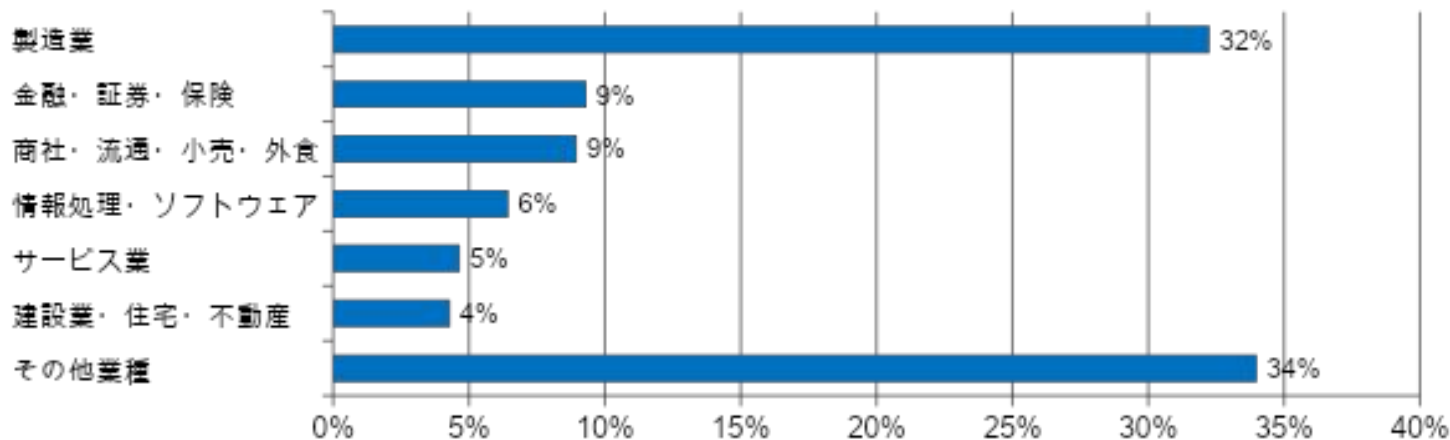
【事業部門・営業・マーケ・海外・支社】



n=6,410人

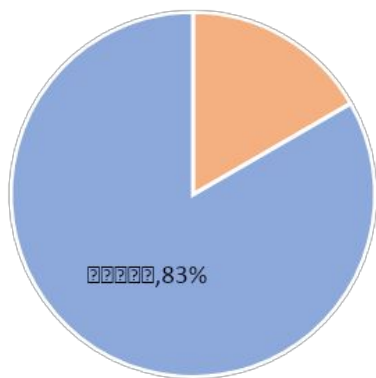
ダイヤモンド・オンライン、DHBRオンラインに登録する企業規模1,000名以上、経営者・役員、部長格35,000通に配信。

【業種】



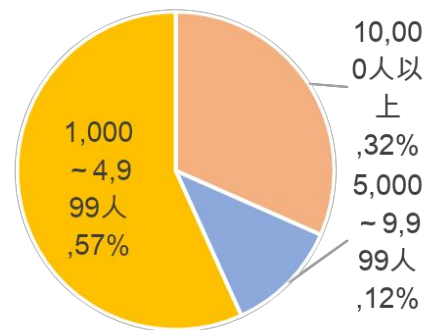
n=34,722人

【役職】



n=34,722人

【従業員規模】



n=34,722人

※配信タイミングにより通数は変動する場合があります。

■ 経営者

これまでにご登場いただいた経営者 ※前身の媒体を含みます。役職は取材当時。敬称略

有馬浩二（デンソー 代表取締役社長）
 安藤宏基（日清食品ホールディングス CEO）
 魚谷雅彦（資生堂 代表取締役社長 兼 CEO）
 牛尾治朗（ウシオ電機 代表取締役会長）
 小野田 聡（JERA 代表取締役社長）
 垣内威彦（三菱商事 代表取締役社長）
 金川千尋（信越化学工業 代表取締役会長）
 柄澤康喜（MS&ADインシュアランスグループ HD 取締役会長 会長執行役員）
 北尾裕一（クボタ 代表取締役社長）
 久多良木 健（ソニー・コンピュータエンタテインメント 元会長）
 古森重隆（富士フイルムホールディングス 代表取締役会長 CEO）
 作田久男（NTKセラミック 代表取締役会長）
 柵山正樹（三菱電機 代表執行役 執行役社長）
 佐藤慎次郎（テルモ 代表取締役社長 CEO）
 澤田 純（NTT 代表取締役社長）
 澤田道隆（花王 代表取締役社長執行役員）
 鈴木 純（帝人 代表取締役社長執行役員 CEO）
 島野容三（シマノ 代表取締役社長）
 谷本秀夫（京セラ 代表取締役社長）
 玉川 憲（ソラコム 代表取締役社長）
 津賀一宏（パナソニック 代表取締役社長）
 土屋裕雅（ベシアグループ 代表取締役会長）
 津谷正明（ブリヂストン 取締役 代表執行役 CEO兼取締役会長）
 中田卓也（ヤマハ 代表執行役社長）
 中山泰男（セコム 代表取締役社長）
 新浪剛史（サントリーホールディングス 代表取締役社長）
 西井孝明（味の素 代表取締役 取締役社長 CEO）
 東 和浩（りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長）
 東原敏昭（日立製作所 取締役 代表執行役 執行役社長兼 CEO）
 藤野道格（ホンダ エアクラフト カンパニー CEO）
 堀場 厚（堀場製作所 代表取締役会長兼グループ CEO）

オムロン
代表取締役社長
山田 義仁 氏



堀場製作所
代表取締役会長 兼 CEO
堀場 厚 氏



サントリー
代表取締役社長
新浪 剛史 氏



松本正義（住友電気工業 取締役会長）
 峰岸真澄（リクルートホールディングス 代表取締役社長兼 CEO）
 三村明夫（新日鐵住金 相談役名誉会長 | 日本商工会議所 会頭）
 宮永俊一（三菱重工業 取締役社長 CEO）
 村田恒夫（村田製作所 代表取締役社長兼会長）
 山田匡通（イトーキ 代表取締役会長）
 山田義仁（オムロン 代表取締役社長）
 吉永泰之（SUBARU 代表取締役社長）

■アカデミア

これまでにご登場いただいたアカデミア

※前身の媒体を含みます。役職は取材当時・敬称略

伊丹敬之（国際大学 学長 | 一橋大学 名誉教授）
 伊藤友則（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授）
 岩井克人（国際基督教大学 特別招聘教授）
 宇佐美英機（滋賀大学 名誉教授）
 宇田川 勝（法政大学 名誉教授）
 江川雅子（一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授）
 老川慶喜（跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授 | 立教大学 名誉教授）
 大湾秀雄（早稲田大学 政治経済学術院 教授）
 加護野忠男（甲南大学 特任教授 | 神戸大学 名誉教授）
 鹿島 茂（フランス文学者）
 兼田麗子（桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授）
 蒲島郁夫（熊本県知事 | 東京大学 名誉教授）
 川上浩司（京都大学 情報学研究科 特定教授）
 川本裕子（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
 橘川武郎（東京理科大学 イノベーション研究科 研究科長）
 榊原清則（慶應義塾大学 名誉教授）
 柴崎隆一（東京大学大学院 工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授）
 末永國紀（同志社大学 名誉教授 | 近江商人郷土館 館長）
 高倉弘喜（国立情報学研究所 教授）
 高野陽太郎（東京大学 名誉教授）
 名和高司（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授）
 沼上 幹（一橋大学 副学長）
 野中郁次郎（一橋大学 名誉教授）
 延岡健太郎（一橋大学 イノベーション研究センター センター長/教授）
 平野雅章（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
 藤田正勝（京都大学 名誉教授）
 藤本隆宏（東京大学大学院 経済学研究科 教授）
 本田由紀（東京大学大学院 教育学研究科 教授）
 松田裕之（神戸学院大学 経営学部 教授）
 三品和広（神戸大学 経営学研究科 教授）
 森川博之（東京大学大学院 工学系研究科 教授）
 森本博行（首都大学東京 名誉教授）

一橋大学 名誉教授
野中郁次郎



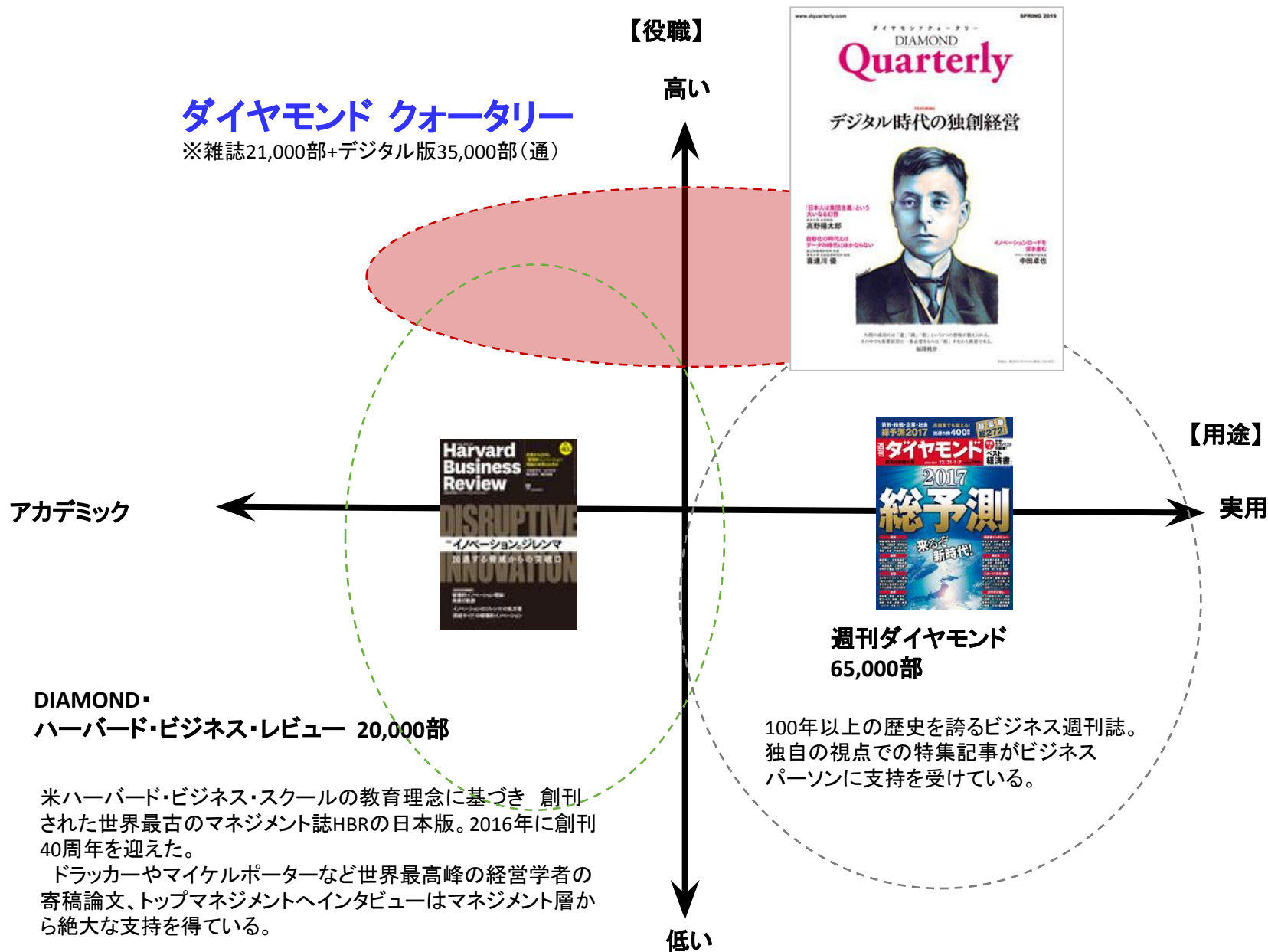
神戸大学 名誉教授
加護野忠男



東京大学 大学院
経済学研究科 教授
藤本隆宏



湊 長博（京都大学 総長）
 宮本又郎（大阪大学 名誉教授）
 安田隆二（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任教授）
 山田英夫（早稲田大学 ビジネススクール 教授）
 横山禎徳（東京大学 EMPディレクター）
 米倉誠一郎（法政大学 イノベーション・マネジメント研究科 教授）
 和田一夫（東京大学 名誉教授）



ダイヤモンド クォーターリー 2024年冬号

■発行日

本誌(約21,000名への送付)	2024年 12月下旬(仮)
オンライン転載(有料オプション)	2024年 12月下旬(仮)
デジタル版(ターゲティングメール)の配信	2024年 12月下旬(仮)

■締切

広告タイアップ申込	2024年 9月30日(月)
取材期日	2024年 10月18日(金) ※対談・複数社の取材の場合は応相談
同梱	申込〆切: 2024年 11月29日(金) 納品〆切: 2024年 12月13日(金) 【納品先】〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-11-7 (株)JCC第四物流センター 綿名様宛 TEL/092-588-5061
純広告(表2、表4、表3)	入稿〆切: 2024年 11月29日(金) ※決定優先となるため空き枠はお問い合わせください。

■お問い合わせ

株式会社ダイヤモンド社
メディア局 ソリューション営業部

info-dq@diamond.co.jp

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

広告: TEL 03-5778-7220

※スケジュールは変更になる場合がございます。